

教科名	国語	科目名	文学国語	学年	3年	単位数	2
教科書	『精選文学国語』 (三省堂)		副教材	「学習課題ノート」「大学入試国語頻出問題1200」 (進路選択に応じて「新しい共通テスト国語対策問題集」)「国語辞典」			

1 科目の目標

表現の豊かさや言葉の情緒の深さに触れ、言語活動を通して、文章の奥深さを読み取ったり効果的に表現したりする資質・能力を育成することを目指す。

2 学習について

① 予習・復習の方法

予習：本文を読み、語句の意味調べなどを行う。気になったところがあれば明らかにしておく。

復習：授業を通して、理解できたこと、分からなかったところを確認する。

② 授業における学習方法

授業のときには、本文の内容を整理しながら理解し、想像力を働かせながら読み味わう。ノートには板書、考えたことや思ったことを書いておき、授業で学んだ過程が後でわかるようにしておく。

③ 家庭学習のポイント等

【全員】宿題は、出された当日に必ず自分の力でやる。

【Aクラス】スタディサプリを積極的に活用する。模試の対策・復習を行う。

【Bクラス】準拠ワークに取り組み、内容を理解する。

3 学習計画

考査		単元名(学習項目)	学習内容(ねらい)
前期	前期 中間	随筆(応用) POP・帯制作 小説①(応用) 韻文(応用)	・自らの読書体験について思考し、「読むこと」に応用する。 ・対象を明確にし、目に留まる作品制作をし、「書くこと」に応用する。 ・作品の象徴的意味を理解し、「読むこと」に応用する。 ・表現形式や修辞の効果に着目し、詩の理解を深め「読むこと」に応用する。
	前期 期末	韻文(応用) 小説②(応用)	・アンソロジーの作成と相互評価をし、「書くこと」に応用する。 ・事物の描写と心情理解を深め、「読むこと」に応用する。
後期	後期 中間	共同制作(応用) 小説③(応用)	・連句の理解、グループで連詩を作成し、「書くこと」に応用する。 ・戦争の記憶を語り継ぐことの意義を、「読むこと」に応用する。
	学年 末	翻訳(応用) 評論(応用)	・翻訳作品と原作を比較し、「読むこと」に応用する。 ・近代小説の文体の歴史的変換について、「読むこと」に応用する。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文学的な文章を読むための知識や技能を身に付けるとともに、言葉や表現の仕方に対する理解を深めることができる。	背景や登場人物の言動をもとに想像力を豊かにふくらませ、表現することができる。また、効果的な表現方法を身につけ、自らの表現に生かすことができる。	文章やその周辺に興味を持ち、他者との協働の中で、より作品の奥深さに触れようとする態度を養うことができる。

5 評価方法

計70時間(50分授業)

上記の観点を踏まえ、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、単元ごとや宿題などの課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…60% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…10%

